進路だより

NO．２
平成３０年４月２４日（火）発行
北海道札幌西高等学校定時制課程
進　路　指　導　部

子供たちが社会の一員として自立し生きていくために
～保護者のみなさまへ～

家庭・地域と学校が連携して進めるキャリア教育

キャリア教育とは、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育です。

社会の変化が急速に進む中、職業のあり方が変わりつつあり、若者の完全失業率や非正規雇用率の高さ、若者無業者や早期離職者の存在が社会全体の課題となっています。

このような社会全体の課題に対応していくためには、すべての大人が子供たちの育成に関わるという自覚のもと、家庭・社会・地域が一体となってキャリア教育を推進していく必要があります。

※キャリア発達とは、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程をいいます。

キャリア教育は学校が中心となって進めますが、社会や職業に関わる様々な現場での体験的な学習活動がとても有効であることから、家庭や企業、地域社会等、様々な立場の人が共同して取り組むことが求められています。

特に家庭は、子どもの自立を促す重要な場であり、保護者が積極的に協力することでキャリア教育の充実が図られます。

家庭での取り組みを充実させましょう。

生活習慣の確立

早寝、早起き、朝ごはんで心身ともに健康となります。

様々な体験

家事の分担、ボランティアや地域行事への参加などで、やりがいや苦労、達成感を経験できます。

家庭内でのコミュニケーション

基本的な挨拶はもちろん、職場体験や保護者の仕事に関する会話や、学校のことや将来のことなどについての会話を通して、人とのつながりや行き方。になりますヒントを考える

家庭と学校との連携が大切です。

家庭における、キャリアに関わる対話の促進

- 進路講演会の等の内容について
- 保護者の仕事について
- 将来の職業とその準備について
- 子どもの長所や成長について
- アルバイトについて　　など

⟷

学校からの情報提供による共通理解の構築

- 学校だより
- 学校HP
- 授業参観
- 進路説明会
- 三者面談　　など

⟷

保護者による、学校のプログラムへの直接の協力

- 職業人講話
- インターンシップ先の開拓
- 進路講演会企画への参画

など